

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

10.10の勝利をバネに「60.3ダイ改」阻止

ヤ一回支部代表者会議南かる(10/17)

10月17日、13時より動力車会館において第一回支部代表者会議を開催し、首切り「三本柱」粉碎、「10・10三里塚」闘争の経過と総括「60・3ダイ改」阻止をはじめとする当面する取り組みについて意志統一をはかり、全力をあげて取り組むことを決定しました。

今秋から来春への決戦に、
確心固くつき進もう

動労千葉は、第九回支部代表者会議以降、第九回定期大会を開催し、「国鉄と三里塚を基軸に、反動・中曽根内閣と対決する」基本路線を確立し、具体的には、直面する首切り「三本柱」、「10・10三里塚・五割動員」の闘いを全力で取り組み、「60・3ダイ改」阻止へ総決起していくことを確認し闘いぬきました。

この動労千葉の闘いは「10・10三里塚」へ、「3・25」を上まわる六四〇名というかつてない大動員をかちとるなど大きく前進しています。われわれは、今後、第一に「10・10三里塚」の圧倒的成功を起点とする「10・21国際反戦デー」「11・3団結祭典運動会」「11・10国鉄労働者集会」の成功をかちとること。

第二に、首切り「三本柱」についての当局の一方的団交切り、「雇用安定協約破棄」攻撃を粉碎し、11月中下旬に具体的内容の提案が想定される「60・3ダイ改」阻止へむけて、全力をあげて闘いぬかなければなりません。支部代表者会議で決定した当面の取り組みは、次のとおりです。

具体的な闘いについて

1. (1) 10・21国際反戦デーに向けた取り組み
 - ① 県労連要請による社会党・総評主催の「反戦・反核中央集会」への参加
 - ② 中野委員長および関川顧問も呼びかけ人として加わっている東京集会（於・芝公園）への代表派遣。
 - ③ 動労千葉結成五周年として開催される「11・3団結祭典運動会」の圧倒的成功のため、家族会も含めた最大限動員の取り組みを強化する。
 - ④ 「11・10国鉄労働者集会」を「60・3ダイ改」阻止へむけた全国鉄労働者の総決起集会として成功させる。
 - ⑤ 組織内は最大限動員。

2. ② 全国オルグ、要請行動の展開。
- ③ 三里塚二期強行着工阻止、成田用水強行着工阻止へ、第九回定期大会の確認にふまえ、反対同盟の要請があった場合、直ちに決起できる準備体制を確立する。

2. 「60・3ダイ改」阻止、首切り「三本柱」粉碎へ向けた取り組み。
 - (1) 政府・国鉄当局の「団交打ち切り通告」や「雇用安定協約破棄通告」、マスコミ総動員の「指名解雇」キャンペーンに屈せず、反撃する組織体制の強化をかちとる。
 - ① 各支部定期大会の早期開催。
 - ② 「日刊動労千葉」、「交渉ニュース」および各支部・各分科会・青年部等の情報による教宣活動の強化。
 - ③ 高令者に対するオルグ体制の強化。
 - 各支部対応による、55才および56才以上の組合員に対するオルグ。
 - 第九回定期大会確認による、54才および50才以上対象の「高令者懇談会」の開催。
 - 55才以上の組合員を対象とした高令者の「希望調査」の実施。

- (2) 首切り「三本柱」の（別紙2および3）に関する当局の「募集」および「希望調査」等については、一切応じないこととし、当局が用紙等を配布したときは支部が回収する。具体的には、当局の動向を見極め、全組合員を対象としたオルグ調査を実施することとする。
- (3) 「60・3ダイ改」へ向けた交渉体制強化にむけた取り組み。
 - ① 内達対策委員会および検修対策委員会の早期開催。
 - ② 「申第3号」による団体交渉の強化。
 - ③ 「申第4号」に基づく青年部要求交渉。
 - ④ 必要に応じて各分科の機関の開催。

3. 第十回定期委員会を11月中下旬に開催する。
4. 情勢に応じて支部代表者会議を開催する。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！